

## 令和3年度第1回図書館協議会議事録

1 開催日時 令和3年7月17日(土) 午前10時～11時30分

2 開催場所 浦安市立中央図書館2階 視聴覚室

### 3 出席者

(委員) 押樋委員長 西村副委員長 遠藤委員 沼委員 澁谷委員 堀内委員  
松本委員 館委員

(事務局) 教育長 生涯学習部長 生涯学習部次長  
中央図書館長 中央図書館副館長 総務係長 レファレンスサービス係長 総務係副主査

4 傍聴人 0人

### 5 議題

報告事項

- (1) 令和2年度利用統計及び実績について
- (2) 令和3年度図書館自己点検評価について
- (3) 累積貸出冊数6000万冊達成記念品贈呈式について

### 6 議事の概要

報告事項

- (1) 令和2年度利用統計及び実績について、事務局より報告を行った。
- (2) 令和3年度図書館自己点検評価について、事務局より報告を行った。
- (3) 累積貸出冊数6000万冊達成記念品贈呈式について、事務局より報告を行った。

### 7 会議経過

報告事項

- (1) 令和2年度利用統計及び実績について、事務局より報告を行った。  
その際に表明された意見(質問)は次のとおり。

(意見) 実績報告として「児童サービス」「障がい者サービス」と並んで高齢者へのサービスとして、どんなことを行ったのかも明示してほしい。

(質問) 大活字本の貸出は障がい者サービスにあたるのか。

(回答) 他市では「障がい者サービス」の対象を障がい者手帳の有無などを基準とする所もあるが、本市では図書館への来館に支障があれば対象とするなど、範囲を広く取っている。また、大活字本の貸出には一般利用者によるものも含まれている。

(意見) 団塊の世代以上に対しても図書館が手厚くサービスしていることをアピールしてほ

- しい。
- (意見) 高齢者へのサービスは、障がい者サービスの中を含むのではなく、高齢者サービスとして方向づけすることも大事である。
- (意見) あらゆる世代に対していろいろな分野の本を紹介してほしい。
- (意見) 高齢者が気軽に利用できる雰囲気を広げてほしい。
- (意見) 昨年度、図書館友の会でオンラインで交流を持った鳥取県立図書館では高齢者サービスが行われており、高齢者向けのよみきかせや音読会など心を惹かれるものがあった。
- (意見) 行きたくても行けないとなった時、在宅サービスがあれば体が弱った時に受けたいと思う。
- (意見) 高齢者サービス、老人サービス、名称をどうするか難しいが、そのような名前のサービスがあれば、気軽に受けることができる。
- (意見) 高齢者がよみきかせを子どもたちにするなど、孫世代と交流ができるとよい。そういった場所を図書館に作ればよいのではないか。
- (意見) 学校では高齢者が子どもたちに昔の遊びを伝えるという事業があったが、大変好評だった。
- (意見) 図書館界では名称として高齢者サービスとする場合が多い。高齢者へのサービスは、世代に対して焦点を当てるのか、健康や相続など関心のある内容に焦点を当てるかによっても変わってくる。
- (意見) 子どもたちとのコミュニケーションの機会としてサービスを展開するとよいのではないか。
- (意見) リタイア後、地域のことがわからない中、図書館でチラシを見たのをきっかけに読書会に参加した人がおり、こういった例も増えると思う。
- (意見) コロナウイルスの影響で図書館も休館したが、外出を控えることで家に引きこもることが習慣となった高齢者も多い。せめて近所に出かけるきっかけとして公共施設がその役割を果たせるとよい。
- (回答) 中央図書館に新設したワークスペースが市民が交流する場としても利用が可能と考えている。また、今年度には「児童サービス係」という名称を「児童・地域支援サービス係」と変更し、これらを課題の一つとして取り組んでいる。
- (意見) 高齢者向けとして、病気や相続などをテーマにするのではなく、もっと人生が楽しくできることを提案してほしい。
- (意見) 子ども図書館のワークショップに参加したが、「どうい本を置いてほしい」ということより「こういう場所にしたい」という意見が多かった。今後に予定されている子ども図書館に交流の場ができることを期待する。
- (2) 令和3年度図書館自己点検評価について、事務局より報告を行った。  
意見(質問) はなし。

(3) 累積貸出冊数 6000 万冊達成記念品贈呈式について、事務局より報告を行った。  
その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

(意見) 分館ごとにこういったイベントをやるのもよいのではないか。〇〇分館で〇〇冊め  
といったふうにPRすれば、担当者の意識も変わってくるのではないか。

(回答) 分館も含めた累積であり、今回の 6000 万冊目も分館で借りられたものであった。

以上